

月例研修会レポ

晩秋の桜井茶白山古墳と 忍坂街道・多武峰街道

有元 康人

12月3日(火曜日)つい先日まで暑い暑いと言っていた日本の気候、やっと来た秋の気配、気持ちの良い研修日和になりました。

参加人数は23名、バスに乗り桜井駅へ。

今回の例会はボランティアガイド2名に案内をお願いし2班で行動しました。

桜井駅でボランティアガイドと合流し、茶白山古墳に行きました。

茶白山古墳は、鳥見山の尾根を削って作った前方後円墳で、全長200mの大きな古墳です。作られたのは3世紀後半で、内部から玉杖や玉類・剣等が出土し、また石室の区画に作られた丸太垣(玉垣)が話題になった古墳です。

茶白山古墳の見学の後、桜井から宇陀へ抜ける忍坂古道に入り、忍坂山麓に広がる歴史の町忍阪、バスから降りて最初に神籠石を見ました。神武天皇の東征の際この地にいた八十建を討つため、この石を隠れ盾として戦った大石です。

舒明天皇が埋葬されている我が国初の八角墳、鏡の王女の墓、大伴皇女忍阪内墓とその周辺の多武峰や音羽山など、紅葉も含め素晴らしい風景を見ながら、古い街並みと調和した歴史の街を散策しました。



昼食は石位寺。管理している方をお願いし、

お寺を開放してもらい、お寺の説明と川の氾濫で流れ着いたとされる白鳳時代に作られた三尊石仏を見て、小春日和の中、昼食をとりました。

昼食の後、忍阪を離れ、天皇の中で唯一暗殺された崇峻天皇の陵といわれている赤坂天王山古墳に行きました。入り口が低く膝をついて中に入ると意外と広い石室、懐中電灯で石棺を照らすと写真のように立派な石棺が現れました。



次は談山神社。着くなり素晴らしい紅葉でしばし写真撮影、どこを見ても絶景です。中大兄



皇子と中臣鎌足が曾我入鹿を打つ談合の場所、藤原氏が建立した木造十三重塔や神殿を廻り、同時に開催されていた藤原鎌足

公展を見学しました。

今日の日程は談山神社ですべて終了。桜井駅でボランティアガイドのお二人を見送り、その後のバスの中では、恒例の昭和歌謡の熱唱、奈良まではあっという間。

素晴らしい紅葉と歴史を十分楽しめた一日でした。皆さんお疲れさまでした。

観光案内をしていただいた、桜井ボランティアガイドの森本さん、東田さん、安全運転をしていただいた生駒交通の運転手さんに、心からお礼を申し上げます。